

●富山大学 学生に対する災害対応支援金給付事業

令和6年1月1日に発生した、能登半島地震や、9月21日～23日に発生した能登半島豪雨による学生や学資負担者が被災した学生に対し、緊急的に経済的な支援を必要とする対象者に支援金の給付を行いました。

また、富山大学学生に対する災害対応支援金給付事業実施要項を制定(R6.3.8)し、災害対策基本法第2条第1号に規定する「災害」(暴風、竜巻、豪雨、豪雪、洪水、崖崩れ、土石流、高潮、地震、津波、噴火、地滑りその他の異常な自然現象又は大規模な火事等)にも支援を行います。

皆様からお寄せいただいた温かいご支援に心から御礼申し上げますとともに、今後とも一層のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

支援内容 (令和6年1月～9月末 申請・支援者)	学部生・院生
家屋が全壊した者 10万円	6名
家屋が半壊した者 8万円 (大規模半壊及び中規模半壊を含む。)	30名
家屋が一部損壊(準半壊を含む。)した者 5万円	87名
学資負担者が死亡又は行方不明となった者 10万円	—

※支援に関する手続きは、学務部学生支援課または各学部教務にご相談願います。

体験記：学部1年次対象短期海外語学研修

理学部 生物学科 2年 密 綾花
留学先：トウクアブドゥルラーマン大学(マレーシア)

前年度の学部1年次対象短期海外語学研修に関して、ご支援頂きありがとうございました。私たちの学年は高校3年間をコロナ渦で過ごし、海外に渡航する機会をなかなか得られなかったため、今回のご支援は初めて海外へ行く大きな後押しになりました。

マレーシアでは英語のみならず、様々な文化や価値観に触れることが出来ました。今回の研修を通して、日本とマレーシアには、文化や価値観の面で違いもありますが、似通った部分も多くあることに気がつかしました。

私は、このような経験を大学1年生のうちにできた事に大きな意味を感じています。海外と日本は、私が予想していた以上に心理的な距離が近いと実感でき、今後の進路選択の幅も広がりました。今回の経験を糧にして、今後も語学学習を継続していきたいです。



お世話になった先生と
帰国前日に記念撮影



街中での夕食の風景

体験記：学部1年次対象短期海外語学研修

芸術文化学部 芸術文化学科 2年 大木 桃花
留学先：トウクアブドゥルラーマン大学(マレーシア)

富山大学基金の海外留学支援事業に参加させていただきありがとうございました。私は、高校生の時に新型コロナウイルスの影響で留学に行けなかった悔しさを挽回しようと思い、留学に行きました。

マレーシアは、マレー・中国・インドの文化が混ざり合う国で、互いの文化を理解し尊重し合う姿が印象的でした。現地の皆さんは、日本人の私たちも温かく迎え入れ、拙い英語にもまっすぐ向き合ってくれました。プログラムでは、日々の英語での授業に加え、現地の伝統的な方法で食事をしたり、3つの文化を比較しながら体験したり、日本ではできない経験を沢山積むことができました。

この留学により、これからも英語や留学に挑戦したいという気持ちが強くなりました。



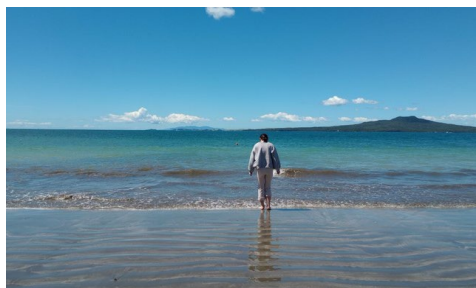
文化交流で伝統衣装を体験

体験記：学部1年次対象短期海外英語研修

人文学部 人文学科 2年 爲澤 梨緒
留学先：オークランド大学(ニュージーランド)

この度は、富山大学基金の短期海外派遣プログラム支援事業（2024年3月実施）に参加させていただき、ありがとうございました。私は1ヶ月間のニュージーランド研修に参加しました。授業では、基本的な英語表現を学んだり、英語でディスカッションやロールプレイングゲームを行ったりして、実践的に英語を学ぶことができました。授業外の自由時間には、色々な観光地に行ったり、美味しいものを食べたりして、非常に充実した刺激的な毎日過ごすことができました。ホームステイ先でも、ホストファミリーが温かく私を迎え入れてくださり、会話やボードゲームを通して楽しく日常会話を学ぶことができました。この1ヶ月間に経験したことは一生忘れないと思います。

この研修を通して、外国人と英語で話すことへの抵抗が少なくなり、英語学習への意欲も高まったので、今後も英語学習や会話を積極的にいき、より成長できるように精進していきたいと思っています。



私の一番お気に入りの海
「タカブナビーチ」



プログラム修了後に全員（先生と富大生）で
大学横のアルバートパークにて撮影

●寄附者様ご芳名一覧（令和6年4月～令和6年9月）

寄附者のご芳名は五福キャンパス事務局棟玄関フロア及び富山大学基金ウェブサイトでもご紹介しております。

【個人】（50音順にて記載）

會澤 宣一 石山 達也 伊藤 陽子 猪上 洋一 猪又 峰彦 今井美恵子 岡崎 浩幸 片岡 弘 唐原 一郎
國石 茉里 黒澤 信幸 犀藤 一枝 篠原 寛明 菅田恵理子 関本 昌紘 高橋 努 竹村 樹里 武山 良三
田端 俊英 田淵 明子 遠山 和大 豊岡 尚樹 中 茂樹 長柄 毅一 中辻 裕司 中村 和之 沼田 智美
橋本 睦月 林 篤志 藤浪 斗 藤本 孝子 藤本 誠 前田 等 松谷 裕二 道野 淳子 宮島 光志
森本 直幸 森山 健三 楽山 進
(ほか公表辞退 60名)

【企業・法人等】

東洋建設株式会社北陸支店 富山大学生生活協同組合 北陸電力株式会社 一般財団法人立仁会（ほか公表辞退 4社）

●富山大学基金の寄附受入状況

受入期間：令和6年4月～令和6年9月末

寄附の種類	寄附件数	寄附金
富山大学基金(一般)	42件	11,010,151円
うちリサイクル募金	12件	51,144円
修学支援基金	79件	3,968,000円
研究等支援基金	3件	120,000円
合計	124件	15,098,151円

●富山大学、メルマガはじめました！

毎月、富山大学の最新情報をお届けします。



●寄附者からの声

- 学生の皆さまが、少しでも勉強・研究に集中できる環境が整いますよう、心からお祈りしております。
- 益々のご発展をお祈り申し上げます。
- 年齢に限らず、やる気のある方たちを応援します。
- 震災の被害を受けた学生にも、安心して学べるようにサポートして欲しい。
- 1日でも早く勉学に専念できる環境が整うことを祈念しています。

お問い合わせ先：富山大学総務部総務課広報・基金室(基金担当)

〒930-8555 富山市五福3190 Tel. 076-445-6178 Fax. 076-445-6063

E-mail : kikin@adm.u-toyama.ac.jp URL : <https://tomidaikikin.adm.u-toyama.ac.jp>

